

会議議事録

1. 日時等

日時	令和7年11月18日(火) 14:00~15:00
場所	白石町役場 1階 会議室1
会議名	令和7年度 第2回白石町地域公共交通会議

2. 出席者

所属等	役職等	出欠
白石町	町長	×
白石町	副町長	○
白石町駐在員会	会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町駐在員会	副会長	○
白石町老人クラブ連合会	副会長	○
白石町民政児童委員協議会	民生委員児童委員	○
佐賀県立白石高等学校	副校长	○
佐賀県立佐賀農業高等学校	教頭	○
白石警察署	交通課長	○
一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者	(有)錦タクシー取締役	○
一般乗合旅客自動車運送事業者	祐徳自動車(株)乗合バス部長	○
九州運輸局佐賀運輸支局	主席運輸企画専門官	○
佐賀県交通政策課	地域交通システム室係長	○
佐賀県杵藤土木事務所	管理課管理第二担当係長	○
(一社)佐賀県バス・タクシー協会	専務理事	○
(福)白石町社会福祉協議会	事務局長	○
白石町	建設課長	○



写真 交通会議の実施状況

3. 開会

○開会にあたり副会長よりご挨拶をいただいた。

副会長	<p>本日、皆様方には大変お忙しい中に、第2回白石町地域公共交通会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方には、日頃から町政全般に渡りまして、ご支援ご指導いただいておりますことに対しましても、深く感謝申し上げるところでございます。</p> <p>地域公共交通会議につきましては、地域公共交通計画の策定を目的に設置をされております。また、本町としては、地域公共交通を利用しやすい交通手段となるよう見直し、また将来に渡って町民の皆様の移動手段の確保・維持を検討していく重要な組織として、本組織を位置づけさせていただいているところでございます。</p> <p>本町の主要な交通手段であります。いこカー、予約制いこカーを初め、小城市と共同で運行しておりますあいのりタクシーなど、コミュニティ交通の利便性向上と存続のために皆様方のご意見をお聞かせいただければ幸いでございます。</p> <p>皆様、最後までご審議のほどよろしくお願ひ致します。</p>
-----	---

4. 議題

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

(1) 議案第1号：白石町地域公共交通計画の策定に係る内容協議について

委員	<p>あいのりタクシーの江北駅への接続に伴い、小城市と共同運行していたものを廃止し、江北町と共同運行する方向で検討されているのかお聞きしたい。</p> <p>また、江北駅への接続により、対応できなくなる移動について町の考えをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>江北駅への接続は、江北駅または江北駅周辺へ停留所を限定する予定であり、江北町との共同運行は想定していない。</p> <p>また、あいのりタクシー利用者は、ほとんどが牛津駅で降車しており、最も影響があるのは牛津高校生と考えている。江北駅は、佐賀方面、武雄方面、牛津方面、鹿島方面のハブとなっているため、牛津高校含め、様々な高校生にも対応可能になると考えている。なお、小城市区間となる、あしかり方面の移動手段は、小城市と協議する必要があると考えている。</p>
委員	<p>いこカー・予約制いこカーの再編の時期を教えてほしい。</p> <p>また、運転免許返納を後押しする施策が掲げられているが、免許返納前に公共交通を一度利用してもらうことが重要だと思う。免許返納を検討している人が対象となるよう、施策を検討してほしい。なお、免許返納者には、お試し乗車券を配布する等、一定期間の優遇措置を検討してほしい。</p>
事務局	<p>再編の時期は、運行事業者と密な協議を行いながら検討する。現時点の想定では、最短で令和9年10月、遅くとも令和10年度には再編を実施したい。</p> <p>運転免許返納を後押しする施策については、免許返納者だけではなく、高齢者を幅広く対象としたいと考えている。</p>
委員	運営経費についても、国の補助金の対象となるのかお聞きしたい。

委員	佐賀運輸支局としては、今後、補助要件を確認・調整したうえで、対象となるか精査が必要になるとを考えている。
委員	あいのりタクシーのルート変更により、牛津駅周辺にあった鶴田整形外科に行くためには、乗り継ぎが必要になる。あいのりタクシーの詳細のルートをお聞きしたい。
事務局	鶴田整形外科に行くためには、江北駅から祐徳バスへの乗り継ぎが必要になるため、周知を行っていきたい。また、江北駅の停留所等、JR や江北町との調整が必要になるため、具体的なルート・停留所の場所については、今後共有させていただく。
委員	あいのりタクシーの名称は、車両サイズ含めタクシーとは異なり、名称が理解しづらいため、名称を再検討していただきたい。
事務局	今後、検討させていただく。
委員	乗り継ぎ割引の適用拡大については、祐徳バス等の広域交通との接続についても記載があり、重要な視点だと考えている。加えて、予約や決済などの MaaS についても、検討していただきたい。 モビリティ・マネジメントについても、若い頃から公共交通に馴染みをもつてもらうのは重要な視点だと感じている。 多様な主体が移動サービス支える仕組みについても、国が定める指針に沿うものであり、近年制度が拡充されている内容もあるため、適宜支局に相談してほしい。
委員	佐賀市営バスの事例を紹介させていただく。佐賀市営バスは、コロナ比+17.1%となっており、全国の公営バスの中で特に利用者が増加している。理由としては、佐賀県が実施した「さがバスまるっとフリーDAY」をきっかけに、バスを利用し続ける人が多かったことが挙げられる。また、若い人は車に拘らない方が多いという所に目をつけ、小中学校は4千円/月で乗り放題の定期券を売り出し、毎月多数の利用が見られる。そのため、若いうちにバスに乗る癖を身に付けていただくのは良い視点だと思う。
委員	各施策の実施主体や実施時期について、全施策をまとめて表記していただくと、全体像が見えやすい。

5. その他

○特になし

6. 閉会

以 上